

【問い合わせ先】

第十管区海上保安本部 海洋情報部
監理課長 木之瀬 樹
TEL 099-250-9800 (内線 2510)



平成28年6月30日
第十管区海上保安本部

「第145回水路記念日記念講演会」

～生きている南九州の海～

水路記念日は、今年で145回目を迎えます。これを記念して、津波や歴史地震学に造詣の深い都司 嘉宣先生をお招きして「生きている南九州の海」をテーマに講演会を開催します。

1. 開催日時

平成28年8月28日(日) 午後2時～午後5時(受付開始午後1時10分)

2. 開催場所

鹿児島商工会議所ビル(アイムビル) 4階アイムホール
鹿児島市東千石町1番38号

3. 講演会

(1) 一般講演

①「南九州周辺海域の海洋調査の現状～発展する海洋調査技術～」

講演者：海上保安庁海洋情報部長 仙石 新(せんごく あらた)

②「水路記念日とは何か?～海洋調査の始まりから今日まで～」

講演者：第十管区海上保安本部海洋情報部長 鮫島 真吾(さめしま しんご)

(2) 特別講演

「南九州に関わる地震と津波の話」

講演者：公益法人深田地震研究所客員研究員

建築研究所特別客員研究員

防災科学技術研究所客員研究員

都司 嘉宣(つじ よしのぶ)氏

4. 入場料等

入場無料、定員180名(先着順)

5. 申込方法

お申し込みは、電話で「氏名、電話番号、参加人数」をお知らせ下さい。

申 込 先：第十管区海上保安本部 海洋情報部

代表電話：099-250-9800（内線2511・2513）担当：中 釜

受付時間：月～金（休日を除く）午前9時～午後5時まで

申込締切：8月12日（金）午後5時

※申込先着順で、定員になり次第、受付を終了いたしますので、ご了承ください。

6. 鹿児島商工会議所ビル（アイムビル）案内地図



鹿児島市電 天文館通電停から徒歩3分・高見馬場電停から徒歩5分

自家用車ご利用の場合地下駐車場があります（料金30分160円）

※ 無料駐車場の用意はありません、上記地下駐車場も数が限られておりますので、ご来場の際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。

7. 備 考

主催：第十管区海上保安本部

共催：一般財団法人 日本水路協会

8. その他

- (1) 講演会プログラムについては【別紙1】を参照下さい
- (2) 特別講演者及び水路記念日については【別紙2】を参照下さい。
- (3) 講演会の出席及び講演会終了後、講演者への取材を希望される報道機関の方は、8月22日(月)までに、【別紙3】の取材申込書をFAXにて送付してください。
[FAX番号：099-250-9812]

第145回水路記念日記念講演会

～生きている南九州の海～

わが国の海洋調査が始まって今年で145年目を迎えたことを記念して、広く一般の方々に海洋調査の重要性と海洋情報業務への理解を深めていただくため講演会を開催します。「生きている南九州の海」をテーマに、南九州に関わる地震と津波について、専門家である都司 嘉宣氏による特別講演を行っていただくとともに、海上保安庁による南九州周辺海域における海洋調査の現状と最新の調査技術の紹介と、海洋調査の始まりから今日（こんにち）までに関する一般講演を行います。

日時:平成28年8月28日（日）14:00～17:00

場所:鹿児島商工会議所ビル（アイムビル）4階アイムホール

定員:180名（先着順）

主催:第十管区海上保安本部

共催:一般財団法人日本水路協会

プログラム

14:00～ 開会挨拶

第十管区海上保安本部長 岩本 一夫（いわもと かずお）

一般講演

14:10～ 「南九州周辺海域の海洋調査の現状～発展する海洋調査技術～」

海上保安庁海洋情報部長 仙石 新（せんごく あらた）

15:00～ 「水路記念日とは何か？～海洋調査の始まりから今日まで～」

第十管区海上保安本部海洋情報部長 鮫島 真吾（さめしま しんご）

15:30～ 休息

特別講演

15:50～ 「南九州に関わる地震と津波の話」

公益法人深田地質研究所客員研究員

建築研究所特別客員研究員

防災科学技術研究所客員研究員

都司 嘉宣（つじ よしのぶ）氏

16:50～ 閉会挨拶

第十管区海上保安本部次長 下野 浩司（しもの こうじ）

講演趣旨

1 南九州周辺海域の海洋調査の現状 ～発展する海洋調査技術～ 海上保安庁海洋情報部長 仙石 新

海上保安庁が行う海洋調査はニーズや調査技術の発展とともに変化しています。

十管区が管轄する南九州周辺海域でも、自律型潜水調査機器（AUV）や航空レーザー測深による浅海域の詳細な海底地形の把握などが行われています。

また、最近では、自律型海洋観測装置（AOV）を用いた潮汐、海潮流等の把握のための調査に着手するなど、今後も活発な海洋調査活動が行われようとしています。

このように様々な新技術による海洋調査は、海上保安行政への貢献のみならず、我が国の経済の発展を支えています。

海上保安庁のこれら最新の海洋調査技術を紹介しながら、南九州周辺海域の調査の現状について説明します。

2 水路記念日とは何か？～海洋調査の始まりから今日（こんにち）まで～ 第十管区海上保安本部 海洋情報部長 鮫島 真吾

海上保安庁では、毎年9月12日を水路記念日として記念の行事を行っています。

そもそも水路記念日とは何か？明治新政府の設置の頃から始まった海図の作製とこれに必要な水路測量等の調査の話や、その歴史に関わった人などを紹介するとともに、海上保安庁が収集した海の情報を元に、現在、取り組んでいる海洋台帳などの海洋情報の提供について紹介します。

3 南九州に関わる地震と津波の話 公益法人深田地質研究所客員研究員 建築研究所特別客員研究員 防災科学技術研究所客員研究員 都司 嘉宣（つじ よしのぶ）氏

南九州では火山活動が活発ですが、今回の熊本地震で活断層が引き起こす地震活動にも注目が集まっています。

本講演では、安永年間の桜島噴火に伴う鹿児島湾の津波、宝永地震（1707年）による種子島の津波、平成28年と明治22年の2回の熊本地震の類似点などについて講演します。

特別講演者のご紹介

都司 嘉宣 (つじ よしのぶ) 氏

現 職

公益財団法人深田地質研究所客員研究員
建築研究所特別客員研究員
防災科学技術研究所客員研究員



プロフィール

1947年 奈良県生まれ
1970年 東京大学工学部土木工学科卒業
1972年 東京大学大学院理学系研究科修士課程（地球物理学専攻）修了
1982年 理学博士（東京大学）
1986年 東京大学地震研究所助教授
2011年 東京大学地震研究所地震災害科学部門准教授
2012年3月31日 東京大学を定年退職

海上保安庁関係

2008年 長官表彰
(海洋情報業務協力者：長年、海上保安庁の津波防災情報図検討委員として指導及び情報提供の功績に対して)

現在、津波防災情報図検討委員会委員長

筆 書

「知ってそなえよう！地震と津波
ナマズ博士が教えるしくみとこわさ」(素朴社 2007年)
「富士山の噴火 ― 万葉集から現代まで」(築地書館 1992年)
「千年震災」(ダイヤモンド社 2011年)

水路記念日

海図を作製するための水路業務は、明治4年(西暦1871年)に始まり今年で、145年目を迎えます。

明治4年7月28日(旧暦)兵部省海軍部に水路局(後の水路部)が置かれ、ここに、当時わが国で緊急課題であった、船舶の安全を図るための海図を作製する組織が発足しました。

昭和46年(1971年)の創立100年に、旧暦7月28日を太陽暦に換算した9月12日が創立の日とされ、以後、この日を水路記念日としています。

当時の実務は、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩出身の柳楯悦(やなぎ ならよし)少佐〔初代水路部長〕を中心として、東京築地の海軍兵学寮(後の兵学校)の一室で現在の海洋情報業務の基礎がスタートし、日本人による近代的な海図作りが精力的に開始されました。その後、平成14年に組織名を水路部から海洋情報部に改めています。

取材申込書

平成28年 月 日

第十管区海上保安本部

海洋情報部監理課 行

1 報道機関名

2 氏名

3 連絡先

4 ご希望の欄に✓をお願いします

講演会の出席 講演会終了後、講演者への取材

5 テレビカメラの有無

有 ・ 無

平成28年

8月28日(日)14:00~17:00

(受付開始13:10)

鹿児島商工会議所ビル(アイムビル)

4階アイムホール

参加費無料(先着180名)

第145回水路記念日

記念講演会

生きている南九州の海

【一般講演】14:00~

(1)南九州周辺海域の海洋調査の現状
~発展する海洋調査技術~

○仙石 新

(海上保安庁海洋情報部長)

(2)水路記念日とは何か?~海洋調査の始まりから今日まで~

○鮫島 真吾

(第十管区海上保安本部海洋情報部長)

【特別講演】15:50~

南九州に関わる地震と津波の話

○都司 嘉宣

公益法人深田地質研究所客員研究員
建築研究所特別客員研究員
防災科学技術研究所客員研究員

【申込方法】

申込先:第十管区海上保安本部海洋情報部

電話番号:099-250-9800(内線2511・2513)

申込締切:8月12日(金)午後5時(申込先着順)

主催:第十管区海上保安本部

共催:一般財団法人日本水路協会